

平成 29 年度

# 授業改善推進プラン



立川市立西砂小学校

〒190-0034 東京都立川市西砂町 2 丁目 34 番地の 2  
電話 042-531-2082 FAX 042-531-5269  
ホームページ <http://www.tachikawa.ed.jp/es12/>

交通機関 ・西武拝島線 「西武立川駅」下車徒歩 10 分  
・立川バス 昭島駅南口発「松中団地操車場行」乗車、  
「西砂小学校前」下車

## 1 本校の目指す学力

本校では、特に「知識技能」「思考力」「表現力」の力を育てていきます。そのために、国語科の「読むこと」を中心として、確かな読みの力を育てる指導に重点を置き指導を進めています。また、算数科における習得型学習、読書指導、音読を生かした指導を充実させていきます。

## 2 本校の実態

今年度4月に実施した「東京ベーシック・ドリルを活用した効果検証調査」及び、7月に実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査」、平成28年度に実施した「東京都 児童・生徒 体力・運動能力、生活運動習慣等調査」結果からみた本校児童の学力の実態や学習に関する意識、日常の学習の様子からみた児童の実態は以下のとおりです。

### 《「東京ベーシック・ドリルを活用した効果検証調査（平成29年度第1回）」の結果から》

- 全体的に、「数と計算」「図形」領域については、他領域に比べて、比較的高い正答率となりました。しかし、個人差があるため、東京ベーシック・ドリルなどを活用し、今後も習熟を図っていきます。
- 立川市の平均正答率との比較では、3、4、5、6年生が「量と測定」についての正答率が低かったです。長さや重さ、面積などの単位を他の単位へ換算することや量感に課題があります。そのため、9年間ドリルや東京ベーシック・ドリルの活用、「だいたいどれくらいの面積ですか」など意識的に量感を養う問いかけをしていきます。
- 立川市の平均正答率との比較では、2、4年生が「数量関係」についての正答率が低かったです。文章題から場面を想起し、立式する力や自分の考えを図や言葉で説明することに課題があります。そのため、テープ図や数直線などを用いて問題場面を把握させたり、絵や言葉を使って自分の考えを書かせていきます。

### 《「平成28年度 東京都 児童・生徒 体力・運動能力、生活運動習慣等調査（平成28年度）」の結果から》

- 反復横とびが課題であることが分かりました。体育の授業の中で主運動につながる動きとして瞬発力や敏捷性を高められるような運動（タグ取り鬼やラダートレーニングやコーンタッチ）に楽しみながら、継続的に取り組む必要があります。
- ソフトボール投げの数値が低いことが分かりました。投力を高めるために、ボール運動で投げる場面を多く取り入れたり、投力を高めることができる用具を使って運動したりする必要があります。

### 《「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から》 ～5年生～

- 国語は8.8ポイント、社会は6.7ポイント、算数は7.8ポイント、理科4.5ポイント東京都の平均を下回る結果となりました。
- 4教科を70ポイントの期待値で評価すると、社会と理科は期待値をやや下回り、国語と算数は課題が残る結果となりました。
- 「思考・判断・表現」の正答率は46～70ポイント、「技能」は51～72ポイント、「知識・理解」は44～60ポイント程度でした。教科によってばらつきもありますが、継続的な反復練習による習熟を図り、より確かな技能や知識を定着させる必要があると言えます。
- 「読み解く力」に関しては、国語と社会と理科の「取り出す力」と、理科の「読み取る力」は期待値に達しましたが、他は達しませんでした。粘り強く問題に取り組み、大切な事柄を手掛かりに着実に解決していくことに課題が見られます。
- 「学習に関する意識調査」において、「授業が分かる・どちらかという分かる」と回答した児童は、各教科共に86～94ポイントとなり、学習に対する意識の高さがうかがえます。

### 【教科別の実態】

〈国 語〉	〈社 会〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「関心・意欲・態度」が90.1ポイント、「授業が分かる」の回答が89.6ポイントと、学習に対して良好な姿勢と言えます。</li> <li>○ 「書く」の結果は約68.6ポイントで、考えを整理しながら分かりやすく書く練習をすることが必要です。</li> <li>○ 「読み解く力」の中の、特に「解決する力」は60ポイントに到達せず、資料を比較検討する力の育成を図る指導が必要だと考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「関心・意欲・態度」が91.9ポイント、「授業が分かる」の回答が86ポイントと、学習に対して良好な姿勢と言えます。</li> <li>○ 「解決する力」に課題が見られます。資料から読み取ったことを活用する力を育成する必要があります。</li> <li>○ 都道府県名等の知識の確実な定着はもちろん、日常生活の様々な事象と日々の学習を関連付けて考える授業の工夫が必要と言えます。</li> </ul>
〈算 数〉	〈理 科〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「関心・意欲・態度」は93ポイント、「授業が分かる」の回答が94ポイントと、学習に対して良好な姿勢と言えます。</li> <li>○ 「思考・判断・表現」に課題が見られます。解答の仕方を見付ける力を更に身に付ける必要があります。</li> <li>○ 他教科に比べ「読み解く力」の値が低く、問題を正確に読み取り、論理的に考える力の育成を図る必要があります。基礎・基本の定着とその活用が今後の重点です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「関心・意欲・態度」が93.6ポイント、「授業が分かる」の回答が94ポイントと、学習に対して良好な姿勢と言えます。</li> <li>○ 「技能」と「知識・理解」において特に課題が見られます。観察や実験方法を的確に理解し実践することはもちろん、原因と結果を結び付けて考える力と、日常生活の様々な事象と関連付けて考える力を身に付けることが必要です。</li> </ul>

《日常の学習の様子》 ○：成果 ●：課題

1年	国語	○平仮名 50 音の表記は、9 割の児童が定着しています。読み取りは、問いと答えの文を理解し、根拠を明確にした簡単な文を書くことができるようになってきています。 ●音読では、平仮名の拾い読みをしている児童が数名います。
	算数	○加減法については、9 割の児童が定着しています。(繰り上がりなし、繰り下がりなし) ●文章問題において、正しく立式できるのは7割の児童です。さらに正しい答えを書くことができるのは4割の児童です。
	生活	○アサガオの世話に、意欲的に取り組んでいました。 ●観察したことを文章で表現することに課題があります。
	音楽	○歌と楽器の演奏に、意欲的に取り組んでいます。 ●鍵盤ハーモニカを、正しい運指で弾くことに課題があります。
	図工	○楽しんで活動に取り組んでいます。 ●用具を正しく使い、想像をふくらませて活動することに課題があります。
	体育	○表現活動・鬼ごっこ・固定施設などに、意欲的に取り組んでいます。 ●勝敗を受け入れること、規則を守ることに課題があります。
2年	国語	○意欲的に学習に取り組み、自分の考えを書いたり発表したりできます。 ●漢字の定着については、個人差が大きいです。
	算数	○筆算(2桁同士の繰り上がりあり・繰り下がりあり)の加減法については、8割の児童が定着しています。 ●時計の学習については、個人差が大きいです。特に、時間と時刻の区別をつけることに課題があります。 ●文章問題において、文章から加法か減法かを判断することに課題があります。
	生活	○交流・探検・観察・世話などの活動に、進んで取り組むことができます。 ●お店見学の際に、メモを取れる児童とそうでない児童に差が見られます。
	音楽	○歌と楽器の演奏に、意欲的に取り組んでいます。 ●鍵盤ハーモニカを、正しい運指で弾くことに課題があります。
	図工	○絵画・工作ともに意欲的に取り組めます。 ●用具を正しく使い、想像をふくらませて表現することに課題があります。
	体育	○走遊び・鬼遊び・固定施設を使った動きや水遊びなど、身体を動かすことに意欲的に取り組めます。 ●遊びの規則を守ることに課題があります。
3年	国語	○発表の話型(結論→理由)が定着しています。 ○辞書引きに進んで取り組んでいます。 ○自分の気持ちや考えを文章に表すことができます。 ●漢字の習熟に課題があります。
	社会	○調べ学習に対し、意欲的に取り組むことができます。 ●資料から分かることを読み取る力の個人差が大きいです。また、分かったことを自分の言葉でまとめる力に課題があります。
	算数	○難しい問題に対しても粘り強く取り組むことができている。 ●文章題から場面を想起し、立式する力については個人差が大きいです。問われていることを理解していない場合があります。
	理科	○観察や実験に対して、意欲的に取り組むことができている。 ●既習の知識が、実感を伴って理解されていないようです。
	音楽	○学習に対する関心がとても高く、意欲的に音楽活動に取り組んでいます。 ●リコーダー等の演奏技能の個人差が大きいです。
	図工	○発想豊かな児童が多く、意欲的に取り組んでいます。 ●材料や用具に触れる機会がまだ少ないため、思った通りに表現しきれていないところがあります。
	体育	○楽しみながら体を動かし、向上心をもって取り組むことができます。 ●鉄棒運動やマット運動を苦手とする児童が多い傾向があります。
	外国語	○興味関心をもって、楽しく活動することができます。 ●みんなに聞こえる声で発話しない児童がいます。

4 年	国語	○毎日の音読や漢字の練習に、意欲的に取り組むことができます。 ●話の中心を捉えて聞くことに課題があります。
	社会	○新しい学習に対して、興味をもって取り組むことができます。 ●都道府県名や位置など、知識の定着に課題があります。
	算数	○基礎・基本の定着を図るために、計算練習などに日々取り組んでいます。 ●自分の考えを、図や言葉で説明することに課題があります。
	理科	○実験したことや考えたことを、意欲的にノートなどに記録することができます。 ●観察や実験の結果から考察する力に課題があります。
	音楽	○音楽を体で感じて表現することを楽しみ、それが表現の工夫に繋がっている児童が多いです。 ●鑑賞したことを音楽の言語で表現することが不十分な児童が見られます。
	図工	○題材に対するイメージを膨らませる活動に慣れている児童が多く、色々な材料を抵抗なく創作活動に取り入れることができます。 ●膨らませたイメージを形にする段階で技能が伴わず、表現しきれない児童が見られます。
	体育	○めあてをもって、意欲的に運動に取り組んでいます。 ●運動経験に差があり、運動に対して消極的になってしまう児童がいます。
	外国語	○興味関心をもって、楽しく活動することができます。 ○振り返りカードを活用し、効果的に自己評価できています。 ●みんなに聞こえる声で発話しない児童がいます。
5 年	国語	○説明文において、筆者の考えを読み取り、要旨を捉えることができます。 ●4年生で習得すべき漢字が身に付いていません。また、語彙力が不足しており、読み取ったことから推論し解決することに課題が見られます。 ●話し手の意図を考えながら、聞き取る力に課題があります。
	社会	○地形の様子が、地域によって違いがあることを理解できています。 ●都道府県名とその位置、国名と大陸の位置が定着していません。また、グラフの読み取りに課題が見られます。
	算数	○習熟度別の学習を行うことで、それぞれの課題に合わせて学習を進め、意欲的に取り組むことができます。 ●4年で学習した「2桁でわるわり算」が定着しておらず、「小数のわり算」でのつまずきが見られる児童がいました。また、あまりの小数点の処理に対する理解が不十分です。
	理科	○安全に気を付けて実験することができます。 ●「変える条件」「同じにする条件」を整理しながら、実験方法を考えていくことへの理解が不十分です。また、温度計や星座早見など、用具の正しい使い方の理解が不十分です。
	音楽	○互いの音を聴き合いながら歌う活動に関心の高い児童が多く、少人数での交流学习の中で表現を工夫しようとする姿が見られます。 ●旋律の特徴を見付け表現に結びつけることに、苦手意識を感じている児童が見られます。
	図工	○材料や道具に関心をもち、楽しみながら作品づくりができます。また、発想力が高く、自分なりに工夫する児童が多く見られます。 ●自分なりに材料や道具の使い方を考えることに課題が見られます。
	家庭科	○調理器具や裁縫道具などを積極的に使い、実践しようとする意欲があります。 ●裁縫・調理などの実習では、技能面の個人差が大きいです。
	体育	○水泳では、ペア学習をすることで、教える側教えられる側双方の泳力が伸びています。 ●ボールを投げる力に課題が見られます。
外国語	○興味関心をもって、楽しく活動することができます。 ●みんなに聞こえる声で発話しない児童がいます。	
6 年	国語	○多くの本や文章を読み、読書の範囲を広げることができます。 ●目的や意図に応じて事柄が適切に伝わるように、話の構成を工夫しながら話すことが苦手な児童が見られます。
	社会	○歴史の学習においては、興味や関心が高いです。また、調べ学習の際に、資料の見方が分かるようになってきました。 ●人物名、出来事、年代など、知識が定着していないところがあります。

算 数	<p>○習熟度別の学習を行うことで、それぞれの課題に合わせた学習を進め、意欲的に取り組むことができています。</p> <p>●分数と小数が混ざった計算で、分数→小数、小数→分数に直す作業におけるつまずきが見られます。</p> <p>●「曲線のある形の面積」で、中心角が決まっている扇形の面積を出すことにつまずきが見られます。</p>
理 科	<p>○安全に気をつけて、実験や観察をすることができています。</p> <p>●「人や他の動物の体」では、臓器の位置や役割について、理解が不十分でした。</p>
音 楽	<p>○情景を想像したり歌詞の意味を考えたりして、表現の工夫に結びつけて歌う活動が充実してきました。</p> <p>●思いや意図をもって歌うことについて、人任せになってしまうことがあります。</p>
図 工	<p>○材料の特徴を生かし、色や形の組み合わせを色々と試すなど、よく考えながら意欲的に取り組んでいます。</p> <p>●感じたことや想像したことから表現することに、課題があります。</p>
家庭科	<p>○調べ学習・話し合い・実習など、どの児童も意欲的に取り組んでいます。</p> <p>●実習では技能面の個人差が大きいです。学習したことを生活に生かそうという意識の高い児童とそうでない児童の差があります。</p>
体 育	<p>○水泳で1級以上が60%を超え、泳力がついています。</p> <p>●マット運動において、後転ができない児童が30～40%いました。</p>
外国語	<p>○興味関心をもって、楽しく活動することができています。</p> <p>○振り返りカードを活用し、効果的に自己評価できています。</p> <p>●みんなに聞こえる声で発話しない児童がいます。</p>

### 3 授業改善策

「東京ベーシック・ドリルを活用した効果検証調査（平成29年度第1回）」「児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果（平成28年度）」「日常の学習の様子」を踏まえ、2学期以降の児童の学力向上に向けて、次のような授業改善を図っていきます。

#### 全学年共通の取組

- 国語を重点教科として、「読むこと」の指導に力を入れ、全ての教科の基盤となる読解力の向上を図っていきます。そのために、読み取りのスキルを学年の発達段階に応じて指導し、積み重ねさせていきます。また引き続き、毎日の「音読」を全学年の共通課題として取り組んでいきます。
- 読書カードを全学年で使用し、読んだ本を記録します。読書旬間を設定したり、教員による読み聞かせを行ったりしながら、読書への興味関心を高めていきます。
- 立川スタンダード20を意識した授業展開を行います。
- まず結論を伝え、次にその理由を添えるという話し方・書き方を定着させていきます。
- 算数では、ドリル学習等習熟を図る学習を取り入れ、基礎的な知識理解を定着させていきます。また、習熟度に応じた問題解決型の学習を通して、説明したり活用したりする力を育てていきます。

#### 教科ごとの取組 各学年・専科における具体的な授業改善策

#### 国語

- ☆ ノートの書き方を全学年で共通理解し、系統的に指導する。振り返りがしやすいノート作りをさせる。
- ☆ 自分の考えを広げたり深めたりするために、交流活動を効果的に取り入れる。
- ☆ 自分の国語辞典をいつでも活用できるように身近に置くことで、語彙を増やす。
- ☆ 朝読書、読書記録カード、読書旬間等、読書推進活動を充実させる。

#### 1年

- ・平仮名や片仮名、漢字を正しく使って文章を書くことができるよう、日記の宿題に取り組みさせる。（週1回）
- ・「いつ」「どこで」「だれ」「何を」「どうした」などの項目を掲示し、意識して話す練習をする。
- ・言葉の意味を考えながら文章を読むことができるよう、音読の宿題を毎日出すなど読む機会を増やしていく。音読発表会を行い、意欲的に音読に取り組むことができるようにする。
- ・根拠を明確にした簡単な文を書くことができるように、ヒントカードなど教材を工夫する。

#### 2年

- ・ペアやグループの話し合い活動など、自分の考えを交流する機会を多く設定する。
- ・漢字（平仮名・片仮名を含む）を正しく使って文章を書くようにする。日記の宿題を週1回出す。

#### 3年

- ・音読を毎日宿題で取り組み、言葉の意味を考えながら文章を読むことができるようにする。
- ・詩の暗唱を取り入れ、語彙力の向上を目指す。
- ・学習の初めの辞書引きを継続して取り組む。

#### 4年

- ・家庭学習での音読を継続するとともに、授業の中での音読の機会を多く設定し、読解力を高める。
- ・言葉に着目し、文章を読み取る力を育てる。
- ・話の中心となる点を落とさずに聞き、他の意見と関連付けて発言する力を育てる。

#### 5年

- ・教員が読み聞かせをしたり、読書カードを使ったりしながら、読書の取り組みを充実させる。
- ・前学年までの漢字の復習テストを行い、定着を図る。

#### 6年

- ・学習の初めに意味調べをする。
- ・講話のメモをとることで、要点を捉え自分の考えをまとめる練習をする。
- ・前学年までの漢字の復習テストを行い、定着を図る。

## 社会

- ☆ 問題解決的な学習を通して、資料を活用しながら考え、まとめる力を育てる。
- ☆ 体験的な学習や資料を活用して、児童の興味関心を高め、問題を発見する力を育てる。
- ☆ 地図帳を効果的に活用して、地図の読み取り方や都道府県の位置の定着を図る。

### 3年

- ・体験活動を通して児童の興味関心を高め、自ら問題を発見する力を育てる。
- ・調べ学習と、調べたことをまとめる学習を効果的に取り入れ、資料活用の力を育てる。
- ・地図の読み取り方や地図記号の知識を定着させるため、繰り返し練習する。

### 4年

- ・問題解決型学習を通して、自分で資料を活用しながら調べる力を育てる。
- ・都道府県名と位置について学習し、テスト等を実施しながら定着を図る。

### 5年

- ・日本地図、世界地図を教室に掲示する。
- ・地図帳を効果的に活用する。
- ・グラフから課題を見付ける授業を取り入れる。

### 6年

- ・年表を掲示し、授業で積極的に活用する。

## 生活

- ☆ 体験活動やたてわり活動を大切に、一人一人の生活力、コミュニケーション能力を高めます。
- ☆ 人・地域・自然との関わりを大切に学習を工夫します。
- ☆ 意思決定をすることの必要な場面を取り入れた学習を工夫します。

### 1年

- ・引き続き意欲的に取り組むことができるように、身近な自然や動植物を題材として扱う。(動物に関しては、見学を実施する。)
- ・観察対象を細かく観察する力を養うために、観察する視点を明確にしていける。

### 2年

- ・普段から箇条書きに慣れさせ、メモを取る力を身に付けさせる。

## 算数

- ☆ 基礎的基本的な学習内容の確実な定着を図るために、東京ベーシック・ドリルを活用した朝学習や授業内における適用問題、放課後補充指導などの個別指導を充実していく。
- ☆ 具体物を操作させたり、図を描かせたりすることで、問題場面を正しく理解する力を育てていく。
- ☆ 学習内容や難易度などを考慮して適正な習熟度別グループを編成し、多様な学習形態で個に応じた指導を行っていく。
- ☆ 習熟度や単元に応じて問題解決型学習を取り入れながら授業を進め、説明したり活用したりする力を育てていく。

### 1年

- ・加法、減法の計算問題を繰り返し練習させ、定着を図る。
- ・文章問題を自力で解決する力を養うため、図や絵で表す練習をする。
- ・ブロック操作、具体物の活動を取り入れ、多くの問題に取り組む。

### 2年

- ・フラッシュカードや東京ベーシック・ドリルを使い、習熟を図る。
- ・日常的に、時刻を聞いたり読んだりする機会を与え、習熟を図る。
- ・普段から文章をしっかり読ませ、聞かれていることにアンダーラインを引かせる等で認識を高めさせる。

### 3年

- ・基礎的基本的な内容の確かな定着を図るために、東京ベーシック・ドリルや9年間ドリル、宿題などを活用する。
- ・児童の習熟度やねらいに応じて問題解決型の学習を取り入れ、自分の考えをもつことができるようにする。

### 4年

- ・習熟の時間を設定し、基礎的基本的な内容の確かな定着を図る。
- ・児童の習熟度やねらいに応じて問題解決型の学習を取り入れ、自分の考えをもち、伝えられるようにする。

### 5年

- ・復習プリント、9年間ドリル、東京ベーシック・ドリルを効果的に活用する。
- ・数直線を積極的に活用させることで、問題文における「基準量」「比較量」「割合」の関係性を正しく把握し、根拠をもって演算決定できるようにする。
- ・図、式、表、グラフ等様々な手段を身に付けさせることで、自分の考えを分かりやすく表現する力を養う。

### 6年

- ・復習プリント、9年間ドリル、東京ベーシック・ドリルを効果的に活用する。
- ・数直線を積極的に活用させることで、問題文における「基準量」「比較量」「割合」の関係性を正しく把握し、根拠をもって演算決定できるようにする。
- ・発表検討場面において、様々な意見を比較・関連付け、数理的な処理のよさに気付かせる。

## 理科

- ☆ 観察や実験など、自然体験や科学的な体験を多く取り入れ、学習内容の定着を図ります。
- ☆ 観察、実験の結果を整理し考察する活動や根拠を明確にして話し合う活動を充実させ、体験と知識を結びつけます。
- ☆ 学習した内容と日常生活との関連を図り、自然の事物、現象について、実感を伴って理解できるよう指導します。

### 3年

- ・生活の中の事柄を通して、繰り返し知識を想起させることで、知識の定着を図る。
- ・予想や結果について、思考をめぐらせる時間を十分に確保する。

### 4年

- ・観察や実験を生かし、体験的な活動を通して学習内容の定着を図る。
- ・既習事項や経験を基に予想を立て、説明できるようにする。

### 5年

- ・実験を行う前に、「変える条件」と「同じにする条件」を表に分かりやすくまとめる。

### 6年

- ・人の体の骨や筋肉の動きを資料を使って調べるだけではなく、他の動物の体のつくりや体の動き、運動を観察したり、実際に触れながら比較したり、映像や模型などを活用したりしながら、人の体のつくりと運動とのかかわりについてとらえることができるようにする。

## 音楽

- ☆ 伸び伸びと表現するための基礎的な能力を育てます。
- ☆ 思いや意図をもって表現したり工夫したりする児童を育てます。
- ☆ 人と関わりながら表現を深めていくような音楽活動を目指します。

### 低学年

- ・楽しみながら取り組めるように、体を使った表現活動を取り入れていく。
- ・発表や表現に対して抵抗感のある児童には、発表形態を工夫するなどして自信をもってできるようにしていく。
- ・体を使った表現活動を取り入れる。
- ・鍵盤ハーモニカの学習を、毎授業の20分間継続的にを行い、練習時間を確保する。

### 中学年

- ・集中して学習に向かえるよう活動にメリハリを付け、基礎的な演奏技能が身に付くようにする。
- ・安心して表現できる環境をつくり、個々で表現する経験を積み重ねる。
- ・旋律の特徴を体の動きで表現するなど具体的な活動を増やして音楽を捉えられるようにする。

### 高学年

- ・イメージしやすい発問を工夫することで、楽しみながら基本が身に付くようにする。
- ・曲想や楽曲の感じを表す語彙を増やし、目指したい音楽表現について言葉で表しながら音楽を作っていく。
- ・ペア学習やグループ学習を通して友達の表現のよさに気付かせ互いの表現を大切にさせる。

## 図工

- ☆ 造形意欲をもって、生き生きと活動する児童を目指します。
- ☆ 材料に親しみ、思いや意図をもって表現したり工夫したりする児童を育てます。
- ☆ 作品や素材との出会いに心動かされるような気持ちを育てます。
- ☆ 造形活動を通して、創り出す喜びを味わうことを目指します。

### 1年

- ・想像力を膨らませて作品を作ることができるよう指示の仕方を工夫する。
- ・はさみなどの道具の扱いに個人差があるため、楽しみながら扱う練習ができる題材を工夫する。
- ・巧緻性を高めるために、手を使う題材を多くする。

### 2年

- ・見本を見ながら制作すること続けながら、想像力を膨らませられるよう指示の仕方を工夫する。
- ・道具（はさみ等）の使い方に個人差があるため、時々練習する機会を設ける。

### 3年

- ・いろいろな材料に触れ、用具の使い方を繰り返し学習しながら基礎的な力を付けるようにする。

### 4年

- ・用具の使い方を繰り返し学習し、楽しんで表現しながら基礎的な力を付けるようにする。
- ・いろいろな材料や用具を経験させる。

### 5年

- ・材料や用具の特徴を基に発想し、楽しく表現できるようにする。
- ・鑑賞の時間を多く設け、友達の表現のよさや美しさを感じとる力を深めるようにする。

### 6年

- ・今までの経験や培った技能を生かし、形や色、表し方、用具の使い方などを自分なりに工夫しながら表せるようにする。
- ・鑑賞で発表を行い、自分の作品や友達の表現の意図やよさに気付かせ、互いの表現を大切にさせる。



## 家庭

- ☆ 生活の自立に向けて、生活に生きる実践的・体験的学習を積極的に導入した学習を目指します。
- ☆ 人・もの・自然との関わりを大切に学習を工夫し、学んだことを自分の生活に取り入れることができるようにしていきます。

### 5年

- ・調理や裁縫の基本を重点的に取り組ませる。
- ・実践的・体験的な学習を繰り返すことにより、生活の様々な場面で状況に応じて知識や技能を活用する能力を養う。

### 6年

- ・知識及び技能や工夫する能力が十分に身に付くように題材を工夫する。
- ・実践的・体験的な学習を繰り返すことにより、生活の様々な場面で状況に応じて知識や技能を活用する能力を養う。

## 体育

- ☆ チームやグループでの学び合いの時間を確保することで、運動技能の向上を目指すとともに、思考力・判断力を高めます。
- ☆ 学習カードを工夫することで、運動の質を高めたり、意欲的に運動に取り組ませたりします。
- ☆ 鬼遊びやタッチコーンなど、敏捷性を高めるための運動を行います。

### 1年

- ・学習カードなどを活用して意欲的に取り組むことができるようにする。
- ・事前に規則の確認を行う。説明は低学年の児童が理解しやすいように工夫する。

### 2年

- ・運動量確保のために、1時間内の授業における時間配分を工夫する。
- ・学習カード等を活用して意欲的に取り組むことができるようにする。

### 3年

- ・体ほぐしや多様な動きをつくる運動を取り入れて、自分の思うように体を動かすための素地を養う。
- ・学習カードなどを用いて、技能面のポイントを分かりやすく示す。

### 4年

- ・運動の質を高めるため、学習カードや教材、教具の工夫を行う。
- ・技のポイントを分かりやすく示す。
- ・チームやグループでの学び合いの時間を確保し、運動能力や体力の向上を図る。

### 5年

- ・自己の能力に適した練習方法や場を選べるようにする。
- ・ボールを投げる動きを意図的に取り入れ、運動能力の向上を図る。

### 6年

- ・自己の能力に適した練習方法や場を選べるようにする。
- ・チームやグループでの学び合いの時間を確保し、運動能力や体力の向上を図る。

## 外国語活動

- ☆ 児童が、和やかに学習できるような環境づくりを心がけます。
- ☆ 児童が、思わず聞いたり話したりしたくなるような教材を工夫します。
- ☆ ALTと連携し、児童が言語やその背景にある文化について理解できるようにします。

### 中学年

- ・友達同士でいいところを認め合う活動を多く取り入れる。
- ・個別に発声する機会をもち、話すことへの抵抗を少なくする。

### 高学年

- ・個別に発話する機会をもち、声に出すことへの抵抗を少なくする。

平成29年度 授業改善推進プラン「学力向上を図るための全体計画」

立川市立西砂小学校

【道徳教育の指導の重点】

- ・全教育活動を通して、正しく判断し、相手を思いやり、社会に貢献する道徳的実践を促し認め励ます。
- ・「規範意識」「善悪の判断」「勇氣」「思いやり・親切」「生命尊重」を中心に様々な手法を通して豊かな心情や実践意欲を育てる。

- 学習指導要領
  - 東京都教育委員会教育目標
  - 立川市教育委員会教育目標
- 〈学校教育の指針〉
- 確かな力
  - やさしい心
  - 個を輝かせ
  - 社会のために

- 学校教育目標
- 思いやりのある子ども
  - ◎自分の考えをもつ子ども
  - 健康で明るい子ども

学校経営方針の柱から  
**「すべての子どもの学びを保障し、その可能性を引き出しよりよく生きていけるよう、常に学び続ける教職員集団であり続ける。」**

【特色ある教育活動の重点より】

- ・豊かな言語活動を育むため「専門家による語り聞かせ」「朝の15分間読書」「読書週間」等、読書活動充実を図る。
- ・縦割り班遊び、伝承遊びなどの活動を通し、助け合い、学び合う態度を養う。
- ・地域の特性を活用した農業体験・栽培活動を通して、豊かな人間関係や社会性を培う。
- ・学習支援者、ボランティアを積極的に取り入れ、児童の体験の機会を増やし、学びの場を充実させる。

【小中連携教育活動を通して】

- ・相互授業参観を行い、地域の子どもの良い点・課題を明確にする。
- ・分科会協議を行い、学力向上のために必要な授業の在り方・展開、態度育成のための生活面からの支援を、小中両者の視点で考える。
- ・校区で作成した9年間ドリルを活用し、児童生徒の基礎基本の定着を目指す。

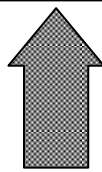
本校における「**確かな学力**」

- ◎思考力・判断力・表現力等
- ◎課題解決能力
- ◎知識・技能
- 学ぶ意欲
- 学び方
- 課題発見能力

本校では、これらの力の中で、とりわけ◎の力を育てるため、国語「読むこと」を中心として深く読み取る力を育てる指導に重点を置き指導を進める。また、課題解決型学習、読書指導、音読を生かした指導を工夫していく。

【生活指導の重点】

- ・月別生活目標の指導を通して、自律的生活習慣を確立し、基本的な社会のルールを身に付けさせる。
- ・教育相談体制や研修を充実し、一人一人の子どもの理解を深め、全教職員でいじめや不登校の早期発見・対応に努める。
- ・安全指導の時間を有効に使い、学校内外の事故や問題行動等を未然に防止する態度を養い解決に努める。
- ・セーフティ教室・交通安全教室・避難訓練・校外パトロール・地域安全マップの作製などを計画的に実施し、児童の危機回避能力を培う。
- ・生活指導の充実を図るため、七中校区スタンダードを策定し、活用する。



本校の授業改善に向けた視点(◎は重点)				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「立川スタンダード20」を常に意識した授業に取り組む。</li> <li>◎言語活動を充実させ、児童の思考力、判断力、表現力等を育み、伝え合う力の育成を図る。</li> <li>○朝の東京ベシック・ドリルタイムや朝読書の時間、及び放課後補充指導を有効活用し、基礎・基本の学力の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新学習指導要領の趣旨を視野に入れ、移行措置の内容を理解する。</li> <li>○固定時間割の作成を通して適正な授業時数を確保し、計画的な教育活動を行う。</li> <li>○農業体験や栽培活動、キャリア教育など、地域の特性や人材を生かした教育活動を年間通して計画的に位置付ける。</li> <li>○会議を精選し、教材研究の時間を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「読む」活動を通して児童の読解力の向上を図る。(校内研究)</li> <li>◎ICTを活用した授業づくりについて研修・研究を行い、かつICT専門員による支援も得て、授業実践に生かす。</li> <li>◎指導課訪問・巡回アドバイザーによる訪問、小中連携の際の授業参観等を通して、教師の授業力を向上させる。</li> <li>○相互授業参観(OJT 週間として設定)を核にして、校内におけるOJTを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎各教科の学習後、振り返り活動を行い、児童の自己評価力、相互評価力を高める。</li> <li>○児童による授業アンケートを実施する。</li> <li>○評価規準を適宜見直し、適正な実施を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎積極的に学校を公開し、学校教育への理解を深めていただくとともに、地域の教育力を活用する。</li> <li>○学校評議員や地域、保護者による学校関係者評価を実施し、結果を教育活動の改善に生かす。</li> <li>○夏季休業中に個人面談(保護者)を設定し、児童の課題について知らせ、連携を図る。</li> <li>○HPや学校便り、学年学級通信を通して発信し、連携を図る。</li> </ul>

各家庭での取り組み

◆立川七中校区家庭学習時間の励行(学年×10分)

◆SNS 家庭ルールの作成と実施

◆基本的生活習慣の確立

(家庭内学習時間・場所の設定、TV・ゲーム機等の使用ルールの設定、読書の習慣等)